



河川改良工事が進む馬淵川打田子地区



修繕が完了した七滝山村広場の木橋

町の課題解決に向けて

行政視察

輝くふるさと常任委員会

子育て支援施設充実 矢巾町

矢巾町は、県のほぼ中央に位置する紫波郡に属する町です。

初めに、矢巾町役場で、高橋昌造町長から町の取組みについての話を伺いました。

その後、さわやかハウスと、やはばーく（矢巾町活動交流センター）を見学しました。

施設は、子どもから大人までが集える地域交流センター、図書センター、子育て世代活動支援センターが整備され、町の子育て支援の充実を感じる施設でした。

輝くふるさと常任委員会（辰柳敬一委員長）は、町の課題解決策を探るため、4月15日から16日、鈴木重男町長と共に、矢巾町と雫石町において取組みなどを研修しました。



充実した矢巾町の子育て支援施設

企業誘致好調 雫石町

雫石町では、企業誘致について、猿子恵久町長より説明を受けました。

盛岡セイコーの従業員700人のうち200人が雫

石町民であるとのことで、雇用の場が創出されたとのことでした。

また、4年には、盛岡市にあった酒造会社「菊の司」が本社及び工場を雫石町内に移転したとのことで、工場内を見学しました。

新しい工場の中は、年間を通して醸造できるよう、温度管理など徹底されており、近代的な施設により、品質にこだわった酒づくりが行われていました。

また、「アーチェリーのまち雫石」を目指して建設された日本最大級の屋内練習施設「いわて雫石アーチェリーセンター」を見学しました。施設内から屋外の的に向けて最大37名が同時に撃つことができる練習場で、大会や合宿の誘致に繋がっているとのことでした。



いわて雫石アーチェリーセンター



菊の司酒造株式会社

施設修繕など 現地で状況を確認

ハード事業を調査

輝くふるさと常任委員会 所管事務調査

輝くふるさと常任委員会（辰柳敬一委員長）は5月21日、5年度に完了した事業と5年度から実施している工事場所などの調査のため、町内を視察しました。
また、盛岡広域振興局土木部岩手土木センター（千葉信英所長）から、県の事業について説明していただきました。

町・県工事など 8箇所を調査

最初に長年懸案の田子地区周辺を洪水から守る、葛葉荘裏の馬淵川打田子地区河川改修工事を視察。県土木センターの説明によると現在進捗状況は7割で、8年度完成とのことですが早期実現を要望しました。
葛巻中学校通学への安全確保を図る町道茶屋場田子線歩道工事（下町）

田子工区）は、順調に進んでいます。8年度完成予定です。

JRハウスくずまき改修工事は昨年度行われ、待合室の間仕切り工事、1階出入口3か所への手すり設置や外壁塗装改修などを視察。

新町の旧遠藤邸に隣接する町有施設解体撤去工事は、きれいに家屋が撤去され、国道281号線から町道町裏線が見通せるように整備されました。



新たに建てられた冬部コミュニティセンター

まちなかの活性化に結びつく活用策を求めました。集会施設整備では、新設の冬部コミュニティセンターや橋場生活改善センター、田代コミュニティセンター、長寿命化改修工事を、また、下冬の七滝山村公園歩道等改修工事を視察しました。
視察終了後に視察結果を取りまとめ、議会としての見解を町当局に申し入れました。